

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	太子町 28464
地域名 (地域内農業集落名)	阿曾 (阿曾)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	15.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	15.4 ha
② 田の面積	15.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における50才以上の農業者の農地面積の合計	15.4 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	11.5 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における50才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、農業を営む者の高齢化(平均年齢65歳)により後継者不足が予測されることから、平成25年2月に阿曾レンゲの里営農組合を設立し、集落営農組織の活動を始めた。

当初は個人所有の各種農業機械を活用しながら水稻(8ha)・大豆(0.5ha)の耕作から始め、県及び町の補助事業制度の活用を図り、農業機械(トラクター・田植え機等)を購入し施設整備を行い共同利用化を進め、令和5年度には、水稻(10ha)・大豆(1.8ha)まで事業規模を拡大した。

また、令和6年2月には、任意の集落営農組織から農事組合法人 阿曾レンゲの里営農組合を設立し、法人組織に移行し組織(役員11名)の体制強化を図り地域の担い手の中心として位置付けました。

今後、農地の委託を希望する農家が更に増えることが見込まれるため、さらに農地を集約化する必要がある。

当該営農組合は地域の担い手として集落の農地の受け皿として、各種作業の効率化・省力化を積極的に取り組み、継続的に地域の農地を有効利用し維持・管理し続ける仕組みの構築と組織体制強化が課題である。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農 利用者		水稻・大豆・枝豆	11.2 ha	ha	水稻・大豆・枝豆	13.6 ha	ha	緑色	
			4.2 ha	ha		1.8 ha	ha	水色	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		15.4 ha	0 ha		15.4 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	兵庫西農業協同組合	乾燥・調整・育苗等	水稻・大豆

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻を主要作物として、白大豆を第二の作物とし、生産物の品質向上に努めると共に、農業機械や施設を充実させ、農作業の効率化・省力化を積極的に取り組む。
また、阿曾レンゲ米のブランド化を進めるうえで、圃場の地力増進に繋がるレンゲの栽培は継続する。
さらに、黒大豆・野菜等の高収益作物や小麦の作付けを視野に入れ作付け品目の拡大を検討していく。
未来に続く農業生産に向け、新たに幅広い顧客層確保に繋げるため、農地の維持管理に務め、農作物収穫祭を継続することにより、地域が一体となって農業を守っていく意識の向上・地域体制の構築を図る取り組みを進めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

貸付け等の意向が確認された農地は、農地中間管理機構を通して、すべて農事組合法人阿曾レンゲの里営農組合が借り受けて、農作業を行う。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	72.7	%	将来の目標とする集積率	88.3	%
--------	------	---	-------------	------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地中間管理機構を通じて 農事組合法人阿曾レンゲの里営農組合を中心に集積・集約化を進めて、団地面積の拡大を図って行く。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

地域の中心経営体である農事組合法人阿曾レンゲの里営農組合に農用地の集積を図り、団地化を進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

令和6年の営農組合の法人化を契機とし、集落全体の農地を農地中間管理機構を利用して、集積化を図る。

(3) 基盤整備事業への取組

将来において農業経営の安定化・作業の効率化・省力化を進めるには、基盤整備に向けた勉強会・研修会・視察等を行い、地域内の意識改革を進める取り組みが必要であり、今後実現に向けて集落と協議を進めていく。
現状の農道や水利施設等については、水利委員会や受益者等と連携し、地域全体として適期に補修対策を行うなど計画的な維持管理に努める。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

町及び県・JAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や生産する農地の斡旋を支援する。また、就農相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農作業の効率化を図るため、兵庫西農業協同組合等が提供している農作業・農業機械・農業施設等の利用や委託を検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ②レンゲ栽培等の取り組みによる土づくりと減肥料栽培を行い、農産物の有利販売に務める。
- ③自動操作システムによる労働力の省力化・効率化を図るため、スマート農機導入を検討していく。
- ⑦多面的機能直接支払交付金等、各種補助金を活用し、畦畔の除草、水路の維持・補修を行う。
- ⑧中心となる担い手の安定、継続的な運営を進めて行くうえで、計画的に機械・施設の導入整備を進めていく。
- ⑩地域間での交流を図るために、観光農園事業を継続して実施する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者		保全	11.6 a	a	保全	11.6 a	a	水色	
2	利用者		野菜	37.9 a	a	野菜	8.5 a	a	水色	
3	利用者		水稲	11.5 a	a		a	a		
4	利用者		野菜	2.6 a	a	野菜	2.6 a	a	水色	
5	利用者		野菜	4.1 a	a	野菜	3.9 a	a	水色	
6	利用者		果樹	0.8 a	a	果樹	0.8 a	a	水色	
7	利用者		野菜	0.3 a	a	野菜	0.3 a	a	水色	
8	利用者		水稲	21.3 a	a	水稲	21.3 a	a	水色	
9	利用者		野菜	4.3 a	a	野菜	4.3 a	a	水色	
10	利用者		水稲	35.4 a	a		a	a		
11	利用者		水稲	29.3 a	a	野菜	1.5 a	a	水色	
12	利用者		野菜	3.0 a	a		a	a		
13	利用者		水稲	25.1 a	a		a	a		
14	利用者		野菜	4.5 a	a	野菜	4.5 a	a	水色	
15	利用者		水稲	61.4 a	a	水稲	61.4 a	a	水色	
16	利用者		野菜	2.0 a	a	野菜	2.0 a	a	水色	
17	利用者		保全	11.1 a	a	保全	11.1 a	a	水色	
18	利用者		水稲	21.9 a	a		a	a		
19	利用者		野菜	9.1 a	a		a	a		
20	利用者		水稲	41.6 a	a		a	a		
21	利用者		保全	4.6 a	a	保全	4.6 a	a	水色	
22	利用者		野菜	19.7 a	a	野菜	19.7 a	a	水色	
23	利用者		保全	7.0 a	a	保全	7.0 a	a	水色	
24	利用者		保全	2.1 a	a		a	a		
25	利用者		水稲	8.2 a	a	水稲	a	a		
26	利用者		保全	15.4 a	a	保全	15.4 a	a	水色	
27	利用者		水稲	11.6 a	a		a	a		
28	利用者		水稲	13.0 a	a	水稲	a	a		
29	利用者		野菜	3.9 a	a	野菜	3.9 a	a	水色	
30				a	a		a	a		
31				a	a		a	a		
32				a	a		a	a		
33				a	a		a	a		
34				a	a		a	a		
35				a	a		a	a		
36				a	a		a	a		
37				a	a		a	a		
38				a	a		a	a		
39				a	a		a	a		
40				a	a		a	a		